



JPI催しのご案内

2023
2

公益社団法人日本包装技術協会

— 2022年度の本催しについて —

2022年度につきましても引き続きウェビナー（WEBセミナー）で
皆様に情報発信をさせていただきます。

●開催要領

日 時 ① 令和5年2月6日(月) 13:30～15:00 / ② 令和5年2月9日(木) 14:00～15:10
③ 令和5年2月21日(火) 10:00～11:30

参加費 JPI法人・個人会員：無料 / 一般：11,000円(1部会、税込) **定 員** 300名

① 2月6日(月) 13:30～15:00 JPI中部支部主催

【テーマ】紙パウダーを主原料にしたプラスチック代替素材「MAPKA」の特徴と活用事例、今後の展開について

プラスチックゴミが引き起こす世界的な環境汚染は既に先進国のみならず途上国においても避けて通れない状況にある。我が国でも「減プラ」「脱プラ」「プラ代替」の動きが本格化することになり、これまでの自主規制とは異なり変革への対応が求められている社会背景の中、早急に解決しなければならないのが使い捨ての食品容器である。当社はプラスチックに微細なパウダーを重量比で51%以上混練した成形材料を開発し、プラスチックを確実に半減させるプラスチック代替製品を市場に送り出した。本講演では開発の経緯とマーケットへの影響について解説する。

【講 師】株式会社 環境経営総合研究所 代表取締役

松下 敬 通 氏

申 込 要 領

- ◆お申込は当会ホームページより、先着順とさせていただきます。
- ◆お申込みが定員に達した場合、一社における参加人数に制限を持たせて頂く場合があります。
- ◆お申し込みは、JPIWEBフォーラム開催3日前までをお願いします。

個人情報の取扱いについて

- 1) 個人情報は「公益社団法人日本包装技術協会 JPIWEBフォーラム」の事業実施に関する資料等の作成、ならびに当会が主催・実施する各事業におけるサービス提供や事業のご案内等のために利用させていただきます。
- 2) 参加申込によりご提供頂いた個人情報は、法令に基づく場合等を除き、個人情報を第三者に開示、提供することはありません。

参加申し込み方法と注意事項

- ・本催しはwebを使用してのオンライン講演会（ウェビナー）になります。
- 申し込みは当会ホームページのJPIWEBフォーラム参加申込ページより登録いただくようお願いします。申込者にはウェビナー開催の2日前頃に「ウェビナー招待メール」をお送りしますので、**メールアドレスの入力を間違えてしまうと登録できずメールをお送り出来ません**のでご注意ください。
- ・お送りする「ウェビナー招待メール」にて、**参加用URL、参加方法、参加までの手順、注意事項**をお知らせしますので、確認の上参加の準備を進めて下さい。
- ・申込者1名のみ本催しに参加できます。1つのメールアドレスで1人しか参加できません。
- ・その他注意事項などにつきましては当会ホームページ上よりご確認の上、参加登録をお願い致します。

当会ホームページ URL : <https://www.jpi.or.jp/>

◆お問い合わせ及び各種催しの申し込み先◆

〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
公益社団法人日本包装技術協会 担当：佐藤 TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
●JPI催しのご案内はインターネットでも公開中です。 URL <https://www.jpi.or.jp/>

JAPAN PACKAGING INSTITUTE

◆裏面にもウェビナーのご案内がございます◆

② 2月9日(木) 14:00~15:10

JPI東北支部主催

**【テーマ】 講演①：落下高さによぼす貨物の混在様式の影響
講演②：青果物の鮮度保持最新技術**

講演①：包装貨物の落下に対する頑強性を評価する試験方法としてJIS Z 0200包装貨物-性能試験方法一般通則がある。この規格では落下試験高さは、積替え回数と加わる外力の大きさによる区分(レベルⅠ～Ⅳ)と貨物の総質量の区分により、定められている。より適切な落下高さはGメータを組み込んだ輸送試験により求められる。ところが、同一重量の製品貨物でも、輸送試験荷扱時の製品貨物の混在様式(専用：同一(重量)製品を連続して数多く荷扱いする場合と混載：異なる重量の製品を荷扱いする場合)により落下試験高さが異なることが、過去の輸送試験結果を整理することにより明らかになった。過去5回の輸送試験結果より、混在様式により落下高さが異なることを具体的に示し、Gメータを組み込んだ輸送試験の注意を換気する。JIS規格の落下高さは、同一製品(同一重量)が数多く荷扱される時の落下試験高さである。残念な事にJIS規格ではまだ規格化されていないが、ASTMやISTAでは混載貨物の貨物試験方法が規格化されている。宅配(混載)に対応するこれらの試験規格を紹介するとともに、あわせてFedexの貨物試験規格も紹介する。

講演②：青果物は収穫後も生命活動を継続した状態で保存・流通され、鮮度が重要な品質の一つとして求められている。鮮度を保つために生きた状態で保存するには、生体活性を低下させることが有効であり、温度を下げた冷蔵流通や、呼吸代謝を抑制した低酸素保存(MA包装、CA貯蔵)等が用いられている。MA包装ではガス置換や青果物の呼吸作用とフィルムの通気性のバランスを考慮する等の工夫が凝らされた様々な手法が提案されている。しかしながらMA包装では低酸素・高二酸化炭素環境の調整が主軸になっており、低二酸化炭素環境への適用など、二酸化炭素濃度の制御範囲に課題があった。また、これらの課題を解決する手法としてCA貯蔵があるが、一般的に高価であり専用の設置スペース等が導入の課題となっている。以上の課題を解決するべく、MA包装のような手軽さで速やかに青果物に適したガス雰囲気制御する“アダプティブMAPシステム”を開発したので、その詳細と実施例について紹介する。

【講師】 講演①：石塚包装設計・開発事務所 代表

石塚 義夫 氏

講演②：三菱ガス化学㈱ 東京研究所・主任研究員

杉本 顕 氏

③ 2月21日(火) 10:00~11:30

JPI関西支部主催

【テーマ】 セブン&アイグループのSDGsへの取り組み「GREEN CHALLENGE 2050」達成に向けて

セブン&アイグループでは、2019年に環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』を発表し、「CO₂排出量削減」「プラスチック対策」「食品ロス、食品リサイクル対策」「持続可能な調達」の4つのテーマで、2050年までの定量的な目標を定めています。創業時からの社是である「信頼と誠実」のもと、社会とともに持続的な成長を目指しています。今回は「グループの重点課題」、「環境宣言『GREEN CHALLENGE 2050』の取り組み」「ステークホルダー連携」について紹介させていただきます。

【講師】 株式会社 セブン&アイ・ホールディングス 執行役員 経営推進本部 サステナビリティ推進部 シニアオフィサー 釣 流 まゆみ 氏

包装関連団体 技術士包装物流会 催しのご案内(会場・リモート併用開催)

3月19日(日) 14:00 ~ 17:00開催

包装・物流を専門とする技術士による

技術士受験説明会 — 技術士への道 —

技術士包装物流会 受験対策委員会委員長 橋本香奈

「包装・物流」分野の専門家として技術士を目指す方々を対象に、受験の仕組みと技術士の活動事例、受験に当たってのQ&Aなどを分かりやすく解説します。

後援：公益社団法人日本包装技術協会、一般社団法人日本マテリアルフロー研究センター、日本包装コンサルタント協会、日本包装専士会、日本包装管理士会、日本MH協会

会場：新大阪丸ビル別館(大阪市東淀川区) ※リモート(Zoom)にて全国対応

内容：基調講演 青木規明氏(当会会長) / 技術士・技術士補とは / 技術士の特典、メリット / 技術士になるためには / 二次試験の分析、合格者推移 / 新試験制度合格者による受験生へのアドバイス / 技術士試験準備のポイント / 技術士試験に合格するコツ、勉強方法 / グループ別ディスカッションほか

参加費：3,000円(支払い方法は参加者に別途案内)

申込方法：下記URLまたは右記のQRコードにて2月10日(金)までお申し込みください。

<http://www.jplcs.com/16611463992508>

お問い合わせ先：担当 平田達也 宛 tatsuya.hirata@mpx-group.jp

